

名古屋大学情報基盤センター

共同利用システム速報

No. 133

平成 25 年 8 月 29 日 発行

1. 新メールサーバ (nucc) への移行・サービス停止について【1】
2. スーパーコンピュータの更新に伴うサービス停止期間について (再掲)【2】
3. 新スーパーコンピュータ概要紹介 (再掲)【3】
4. システム更新に伴うサービス停止のソフトウェアについて (再掲)【4】

1. 新メールサーバ (nucc) への移行・サービス停止について

全国共同利用システムの更新にともなって、平成 25 年 9 月 10 日にメールサーバ nucc も新しいサーバへ移行されます。なお移行作業中はメールサービスのご利用はできません。

基本的に、これまで行ってきた主なサービスは継続されますが、移行後は利用を推奨するメーラ(メールソフト、メールクライアント)の設定に変更がありますので以下の[設定方法](#)を参照してください。

利用者の方にはご迷惑をおかけしますがご理解の程よろしくお願いいたします。

不明な点がありましたら、情報基盤センターにお問い合わせください。

お問い合わせ先 電話：052-789- (4379・4355) メール：center@itc.nagoya-u.ac.jp

【移行スケジュール】

下記の予定でメールサーバを移行いたします。移行作業中はメールサービスのご利用はできません。利用者の方にはご迷惑をおかけしますがご理解の程よろしくお願いいたします。

9 月 10 日 18:00 メールサーバ (nucc) 利用停止

9 月 10 日 19:30 新メールサーバ (nucc) 運用開始

※メーラを使用している場合や旧メールサーバで受信したメールを見る場合、[設定の変更](#)が必要になります。旧メールサーバで受信したメールは、新メールサーバサービス開始後随時移行されていきますので、新メールサーバ移行直後は表示できない場合がございます。

【変更点】

新メールサーバ (nucc) での主な変更点は下記のとおりです。

(1) 暗号化通信方法の変更

セキュリティ強化のためメーラからの暗号通信が StartTLS から SSL へ変更することになりました。これにより盗聴によって情報漏洩したり、メールサーバやスパコンに不正にログインされたりする可能性をさらに低減することができます。

変更後

受信サーバ (IMAP) : nucc.cc.nagoya-u.ac.jp 暗号化 SSL ポート番号 993

送信サーバ (SMTP) : nucc.cc.nagoya-u.ac.jp 暗号化 SSL ポート番号 465

メールソフトの設定変更方法

http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/sys_riyounucc/h_nucc.html

(2)メールスプールの拡大

メールスプールのサイズを 4GB から 8GB に拡大しました。

(3) Active Mail (Web メール) の更新

Active! Mail を最新の 6 に更新いたします。更新することで今まで対応していなかったブラウザでも快適に閲覧することが可能になります。

Active Mail の機能

<http://www.transware.co.jp/product/am/>

対応ブラウザ情報

http://www.transware.co.jp/support/am/am6/2013/03/04_1200.html

2. スーパーコンピュータの更新に伴うサービス停止期間について (再掲)

スーパーコンピュータの更新に伴い、計算機室・電源設備・空調設備の改修工事などの一連の工事を行ってから、新システムを導入する運びとなりました。このことから、新システムの稼働までに要する期間は一ヶ月半必要です。利用者の方にはご迷惑をおかけしますがご理解の程よろしく願いいたします。

新システムの運用開始日は平成 25年10月1日(火)を予定しています。現システムの運用停止後は期間中システムへのログインも行えませんので、研究に支障のないよう早めの利用計画を立てるなどご協力をお願いします。

また、利用者ファイル「/home」及び「/large」ファイルシステムについては、新システムにそのまま移行されますが、重要なデータ等については、各利用者でバックアップをお願いいたします。「/large_tmp」ファイルシステムについては、ファイル移行されません。各自でバックアップ等を行ってください。また、ファイル移行の時間を短縮するため、ファイルの整理のご協力をお願いいたします。

なお、システム運用停止までに終了していないジョブはキャンセルされますのでご注意ください。

表1 現システム運用停止スケジュール

システム	日 程
FX1 システム	8月 9日(金)24:00まで運用予定
M9000 システム	8月 16日(金)24:00まで運用予定
HX600 システム	
ファイルシステム (/home, /large, /large_tmp)	

お問合せ先： 電 話 052-789-4372 メール：kyodo@itc.nagoya-u.ac.jp

3. 新スーパーコンピュータ概要紹介（再掲）

情報基盤センターでは、今年度にスーパーコンピュータの更新を行います。導入する機種等が決まりましたので概要をお知らせいたします。なお、更新スケジュールは決まり次第改めてお知らせさせていただきます。

新スーパーコンピュータ「高性能コンピュータシステム」の概要紹介

1. システムの概要

	フェーズ 1 H25 年 10 月～H27 年 2 月	移行 H27 年 3 月	フェーズ 2 H27 年 4 月～H31 年 3 月
全体	565 TFLOPS	4 TFLOPS	3,666 TFLOPS
Subsystem I	Fujitsu PRIMEHPC FX10 (90 TFLOPS)	停止	Fujitsu FX 後継 (2,918 TFLOPS)
Subsystem II	Fujitsu PRIMERGY CX400 (470 TFLOPS)	停止	Fujitsu CX 後継 (744 TFLOPS)
Subsystem III	Cisco UCS B200M3 (4 TFLOPS)		
Storage subsystem I	Fujitsu PRIMERGY + DDN SFA12K (実効 3 PB)		Fujitsu PRIMERGY + DDN SFA12K (実効 6 PB)

2. システムの概要

2.1 Subsystem I

2.1.1 ハードウェア

	Phase 1	Phase 2	
全体	ノード数: 理論ピーク性能:	384 (6,144 コア) 90.8 TFLOPS	- 2,918 TFLOPS
計算ノード	Fujitsu PRIMEHPC FX10 CPU: メモリ:	SPARC64 IXfx (1.848GHz, 16 コア)×1 32 GiB	Fujitsu FX 後継 - 32 GiB

2.1.2 ソフトウェア

分野	ソフトウェア名
構造解析	LS-DYNA
計算化学	Gaussian

2.2 Subsystem II

2.2.1 ハードウェア

	Phase 1	Phase 2	
全体	ノード数: 理論ピーク性能:	552 470.6 TFLOPS	568 744.5 TFLOPS
ノード群 1	Fujitsu PRIMERGY CX250×368 CPU: メモリ:	Xeon E5-2600 系 1 世代後継×2 64 GiB	Fujitsu CX 後継×384 Xeon E5-2600 系 2 世代後継×2 128 GiB
ノード群 2	Fujitsu PRIMERGY CX270×184 CPU: メモリ: コプロセッサ:	Xeon E5-2600 系 1 世代後継×2 128 GiB Xeon Phi 3100 family	Fujitsu PRIMERGY CX270×184 Xeon E5-2600 系 1 世代後継×2 128 GiB Xeon Phi 3100 family

2.2.2 ソフトウェア

分野	ソフトウェア名
流体解析	STAR-CCM+, OpenFOAM
構造解析	LS-DYNA, Abaqus
電磁場解析	Poynting
計算化学	ADF, AMBER, Gaussian
可視化	AVS/Express, EnSight Gold, IDL, ENVI

2.3 Subsystem III (仮想計算サーバ基盤システム)

Phase 1-2	
計算用ノード	Cisco UCS B200 M3×11
CPU:	Xeon E5-2690 (2.9GHz, 8 コア)×2
メモリ:	128 GiB

2.4 Front end subsystem

2.4.1 ハードウェア

Phase 1-2	
ノード	Fujitsu PRIMERGY CX250×24
CPU:	Xeon E5-2600 1 世代後継×2
メモリ:	256 GiB

2.4.2 ソフトウェア

分野	ソフトウェア名
流体解析	STAR-CCM+, OpenFOAM
構造解析	LS-DYNA, Abaqus
電磁場解析	Poynting
統合 CAE	HyperWorks
計算化学	ADF, AMBER, Gaussian
可視化	AVS/Express, EnSight Gold, IDL, ENVI

2.5 Storage subsystem I

	Phase 1	Phase 2
総実効容量	3 PB	6 PB
ファイル制御装置	Fujitsu PRIMERGY RX300S7+ETERNUS DX80S2	2 倍に増強
磁気ディスクアレイ装置	DDN SFA12K	2 倍に増強

2.6 Storage subsystem II (省略)

2.7 運用管理システム (省略)

2.8 バーチャルリアリティ・システム

- ・ 偏光式立体視プロジェクションシステム
- ・ AVS/Express, MicroAVS, Autodesk ECS, VR4MAX, Reflection X, LightWave, Shade, Vue xStream

4. システム更新に伴うサービス停止のソフトウェアについて (再掲)

スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバの更新に伴い8月16日 (金) 以降は、下記のソフトウェアが使用できなくなります。ご注意ください。

統計解析: SAS

計算化学： MOE, MOLPRO

数式処理： MATLAB, Maple, Mathematica

格子生成： , ICEM CFD

流体解析： α -FLOW